



# 万燈通信

太田市立休泊中学校  
学校通信 第8号  
令和3年9月7・8日

『あいさつ、清掃、ボランティア』

## 2学期が始まりました

緊急事態宣言下での2学期のスタートとなりました。心配していましたが、生徒たちは笑顔で元気に登校しており、ほっとしました。夏休み後半から様々な連絡メールを発信させていただきましたが、抗原検査キットの配布やオンライン学活などにもご協力いただき、たいへんありがとうございました。2学期も、コロナの感染状況を見極めながら、子どもたちの学びを充実させられるよう職員一同力を合わせて努めて参りますので、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 緊急事態宣言中の学校生活

#### その1 玄関での健康チェック（1日～3日）

登校時の体調の確認が、まず重要となります。夏休み明けということもあるので、玄関入り口で健康観察表を持ってきたかどうかを確認しました。持ってきた生徒はそのまま玄関に入り、忘れてしまった生徒は職員が非接触型体温計で体温の測定を行った上で校舎に入ってもらいました。初日は忘れた生徒も多かったのですが、2日目からはぐっと少なくなりました。

今後もタブレットへの入力と健康観察表提出の2段階構成で行っていきますので、ご家庭でもご協力ください。併せて、本人やご家族に発熱や風邪症状等が見られた場合には、登校を控えていただきますようお願いいたします。PCR検査を実施した場合にも、ご連絡をお願いします。

#### その2 分散登校（10日まで）

少し寂しくもありますが、毎日半数ずつ登校してくる分散登校により、お互いの距離を確保しながら落ち着いた学校生活を送っています。給食の時間もできるだけ大勢が出歩かないよう、配膳の方法を工夫しています。もちろん黙食です。賑やかな給食風景が懐かしくなりますが、もうしばらく協力をお願いしていきます。



#### その3 オンラインの活用（職員の挑戦）

2学期の始業式と表彰を、オンラインで行いました。校長室にウェブカメラとマイクを用意し、その様子を各教室の大型ディスプレイ、またはプロジェクターで映すという方法です。夏休み中にいろいろ試し、当日に臨みました。今後も改良しながら実施していきたいと思えます。

また、朝と帰りの会もオンラインでつないでみました。教室にいる生徒と家庭にいる生徒が同時に参加するというものです。家庭待機の生徒へのオンラインによる授業配信も試みます。時代の流れに乗っていきけるよう、職員も日々研修しています。



## 始業式で生徒に伝えた話

長い夏休み、私たちに力を与えてくれたのが、オリンピック・パラリンピックではないでしょうか？特に、女子バスケットは感動的でした。知っての通り、バスケットは身長が高い方が圧倒的に有利なスポーツです。しかし、日本チームは組織的な守備、圧巻の運動量とスピード、そしてスリーポイントシュートで対抗し、見事銀メダルを獲得しました。よさや持ち味を活かすために精一杯努力することで、不可能とされていたことを可能にすることだってできる、そんなメッセージをもらった気がします。



オリンピック・パラリンピックに出場した選手たちは、だれもが目標に向かって相当の努力を積み重ね、プレッシャーとも戦いながら大会に臨みました。選手たちの喜びの、または悔しさのにじむコメントには、必ず支えてくれた人たちへの感謝が込められていました。一生懸命努力する人には、応援してくれる人も集まってくるのだと思います。感謝の気持ちを持っているからこそ、絆も深くなるのだと感じます。



もう一つ印象に残っているのは、10代の若い選手たちの活躍です。スケートボードは、皆さんと同世代の選手たちが生き生きと躍動し、新しい時代がやってきたのだと感じました。それと同時に印象的だったのは、大技に挑んで失敗した日本選手に、様々な国の選手が駆け寄り、抱え上げてたたえていた姿です。共に真剣に競技に取り組む仲間としてお互いを自然に受け入れる姿は、私たち大人が見習うべき姿、これからの世界の在り方ではないか、そんなことも思いました。

これからの時代を作っていくのは、皆さんです。目標に向かって一生懸命に努力したり、自分や周りの人たちのよい面を積極的に見つけたりしながら、2学期もこれまで以上に充実した学校生活にしてください。

最後になりますが、新型コロナウイルスとの闘いは今後も続いていきます。デルタ株の出現により、これまで以上に感染予防を徹底しなければなりません。自分や家族の体調を管理し「うつさないこと」、マスクを着用し人との距離を空けることで「うつらないこと」、友達などに感染者が出て「責めないこと」を徹底することで、お互いに安心な学校生活にすることができます。

楽しみにしていた中学校生活が、コロナのせいで台無しだ。自分たちはなんて運が悪いんだろう。ついそんな気分になってしまうこともあると思います。作家の中谷彰宏さんは、こんなことを言っています。「運がいい人も、運が悪い人もいない。運がいいと思う人と、運が悪いと思う人がいるだけだ。」**不自由さを嘆く毎日よりも、できることを見つけて工夫しながら全力を尽くす休泊中生徒になっていきましょう。**

2学期も、皆さんのがんばりと成長を期待しています。

### 【表彰関係】 万燈通信第7号で紹介したものものをのぞく

柔道 団体メンバー	黒田 峻佑、大塚 耀晴、三木 晃貴、雨笠 大和、 宮村 虎徹、宮本 鳳樹、テメイトス 武蔵
県大会66kg級	第3位 3年 大塚 耀晴
少年の主張東毛地区大会	優秀賞 3年 高橋 璃音
歯科保健図画・ポスター	学校代表 1年 中村 羽那 2年 稲村 有輝 3年 菊池 成美
よい歯のコンクール	学校代表 3年 田嶋 ころろ
県中学生空手道選手権	団体型女子敢闘賞 柴田 萌音、島田 紗愛、神戸 葉月